



セダカコバヤハズカミキリ
小豆島の高地のごく狭い範囲に生息する。成虫は、後翅が退化して飛ばず、結葉を食べる。

ショウドヒメオサムシ
ミミズや小さい昆虫などを齧って食べる。アキオサムシの小豆島固有亜種。

センチコガネ
サルの糞に群がっているのを見かける。小豆島のセンチコガネは他の産地に比べるばいのが特徴。



アサヒナカワトンボ
深溪近くを飛翔し、付近の林の緑などでも見られる。

ミンミンゼミ
香川県本土では、主に山地に生息するが、寒霞溪ではどこでも見られる。

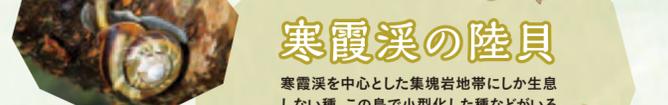
ケバカマルクビカミキリ
寒霞溪の岩場などに生息するネズミシジミが幼虫の唯一の食糧となっている。

トゲアリ
香川県本土では減少し、ほとんど見られなくなったが、なぜか小豆島の森では普通に発見される。



マムシ
小豆島では、いたるところで生息している。石の下や物陰に潜み、雨上がりや夜に出てくる。

ニホントカゲ
雨上がりの午前中に、日当たりの良い場所で日光浴をする姿がよく見られる。



ショウドシマギセル
小豆島と豊島、豊島だけに生息する香川県固有亜種。落ち葉や石の下から見つかる。



セトウチマイマイ
香川県本土に比べて、寒霞溪ではなぜか小型化する。殻の個体も見つかるといわれる。

チャイロトメマイマイ
香川県では、小豆島中央部の集塊岩地帯だけに生息する小型のカタツムリ。



ヤハタマイマイ
世界で小豆島中央部の集塊岩地帯にのみ生息する大型のカタツムリ。地元では、カンカケイマイマイとも言われる。

サワガニ
沢の水質が良いこと、指標となる生物、雑食性で藻類や落ち葉、水生昆虫など何でも食べる。

このガイドマップについて

- 寒霞溪には、このマップにある生き物の情報のほかにも、たくさんの素晴らしい場所があります。そんな場所を見つけたら、このマップに書き込んで、皆さんのオリジナルのマップをつくってください。
- このマップでは、自然観察に適した道を紹介していますが、登山道の途中には足元の悪い場所や幅の狭いところがありますので、十分に気をつけてください。
- この地図はデフォルト表示されているので、距離の目測には適していません。

至 土庄港
至 草壁港
至 大庄港

阿豆沢島神社
星ヶ城西峰
星ヶ城東峰 標高317m
阿豆沢島神社
寒霞溪終塚
三笠園地 標高612m
第二展望所
山頂駅
レストラン
売店
第一展望所
全長917m
三線交走式
ミルンヤンマ(9-10月)
とうらん駅
バス停

表登山道
裏登山道
星ヶ城登山道

トイレ
休憩所
表登山道
裏登山道
星ヶ城登山道
ビューポイント
バードウォッチング
駐車場

鳥帽子岩(あざいいわ)
玉筍峰(たまごけいぼろう)
錦屏風(きんぴんふう)
高帽子岩(たかぼうしいわ)
老杉洞(らうさうどう)
通天道(とうてんどう)
錦屏風(きんぴんふう)
シマアメンボ
猪谷池

帆柱(ほりだけ)
法螺貝岩(ほらがいいわ)

※石門洞は大師洞ともいう



ニホンジカ
香川県の県民獣ではあるが、近年では個体数が増加し、大きな農林被害を発生させている。



ニホンザル
寒霞溪や銚子溪の群れは集団で暮らす傾向が強く、冬には身を寄せ合って温まる光景(猿団子)が有名。



ウリハダカエデ
樹皮はウリの葉のような薄い緑色をしており、葉は扇状形で長さ3-5cm。寒霞溪に多く見られる。



ミセバヤ
粉白色した分厚い葉をもつ多年草。10-11月に葉の先端に淡紅の美しい球状の花が咲く。



カンカケイミライ
世界で寒霞溪周辺の集塊岩地帯だけに生えるニラの仲間。8-9月にネギ坊主のような淡い紅色の花を咲かせる。

寒霞溪のほにゅう類
ニホンザルやニホンジカ、イノシシなどが生息し、香川県の島しょ部では、唯一、ムササビが確認されている。



イノシシ
明治8(1875)年頃、豚コレラによって一度絶滅したが、近年、海を渡って小豆島に漂着する個体が多くなり、小豆島一円に生息するようになった。

イワシデ
小豆島や豊島、五剣山、峰山、五色台などの岩場や崖地に生息する。寒霞溪では、集塊岩の崖地や岩場(上部)に見られる。

イロハカエデ
別名タカオカエデとも呼ばれ、葉は掌状に5-9裂し、秋に紅色に紅葉する。

ショウドシマレンギョウ
世界で寒霞溪周辺の集塊岩地帯だけに生育する。所々に固まって生え、4-5月に緑の葉とともに黄色い花を咲かせる。



ハヤブサ
獲物となる小さな野鳥を探して、寒霞溪の上空を飛ぶ姿を1年中観察できる。



クロツグミ
姿は見つけにくいですが、「キョロイ、キョロイ、キョコキョコキョコキョコ」と鳴く。



ヤブサメ
なかなか見つけられないが、ヤブの中から「シシシシ」と虫のような音が聞こえる。



センダイムシクイ
姿は見えにくいですが、「殖殖いっばいグイー」の泣き声でおなじみ。寒霞溪は、香川県の中でも有数の観察ポイント!



ウツ
冬の間に、香川にやってくる。木の葉や芽、つぼみを食べる。口笛のように「ヒツツ」と鳴く。



オオルリ
鳴き声も、姿も美しい夏鳥の代表格。寒霞溪は、香川県の中で最高の観察地として知られている。



サンコウチョウ
平地から低山の良く茂った林で見られる。「月日星ホイホイ」と口笛のような声でさえずる。



ヤマガラ
よく茂った林を好み、木の葉を樹皮の隙間に貯える習性がある。季節によっては家族群に出合える。

ミサゴ
小豆島周辺の瀬戸内海に向かって、魚を狩りに出かけて行く姿を1年中観察できる。